

Ⅲ. 社会に資する事業（寄付行為第4条3号）

語学・教育部

今年度の方針： 充実したクラス、講座作り、及び受講生により良いサービスを提供できることを目指す



韓国文化とマナー講座



マイケル先生の英語サロン

今年度は従来のクラスに加え、韓国文化を学ぶ講座、スペイン語、ドイツ語、フランス語、イタリア語SAPLレッスンなどのいくつかの短期講座を開催した。大変多くの受講者を集めることができた講座もあり、新しくYWCAの語学教室を知ってもらう良い機会となった。また、来年度のクラス編成を考える上で参考にもなった。また、資格取得や特別なスキルアップのためにプライベートレッスンの受講を希望する方も多く、多彩な講師陣を有しているYWCAの特色を活かすことができた。

通常クラスに関しても、英会話というよりも受講者自身の目的にあわせてクラスを選ぶ傾向が見受けられ、特に通訳クラスは好評である。

広報に関しては、ホームページをより一層充実する事ができた。上記の短期講座を初めとして、英語サロン、夏期講座、英語教育セミナー、アレクサンダーテクニークレッスンなどの様子を写真も含め、開催当日又は翌日には、ホームページ上で紹介するように努めた。
(石垣 裕子)

【開催プログラム】

開催日	プログラム名	テーマ	講師名	回数	人数
年間	クラス (65クラス)	パンフレット参照	パンフレット参照	—	310
年間	プライベートレッスン			48	48
9/15	英語サロン	A Close Look at the “Queen”	マイケル・クルーズ	1	30
12/22	英語サロン	The Mistakes We Make	マーク・リーボック	1	16
8/20 ~ 8/24	夏期講座	夏休み読書感想文教室	河合 利政	1	6
8/11,12	アレクサンダー・テクニークワークショップ	音楽家のためのアレクサンダー・テクニークレッスン	ヴィヴィアン・マッキー	1	14
6/23	英語教育セミナー	GDMで楽しい授業創り	水谷 広子、石井 恵子	1	40
9/1,2	英語教育セミナー	発音ワークショップ	中郷 慶	1	15
10/20	英語教育セミナー	コミュニケーションスキルアップセミナー「女性が社会で輝くために」	エリザベス・ハンドオーバー、新崎 隆子	1	19
5・6月、8・9月、10・11月	短期講座	Yoshimi'sアレクサンダー・テクニークレッスン	小松 好美	3	31
6月～7月、9月～10月	短期講座	ドラマに見る韓国文化とマナー講座	朴 貞蘭	3	49
7月～9月	短期講座	4言語対応SAPLお試しコース	西村 恵美子	1	10
9月～10月	短期講座	場面別韓国語講座	朴 貞蘭	1	6
11/15、12/1	短期講座	学びの力をはぐくむ・幼児知育教室体験レッスン	榊原 千香子	1	4
11月～12月	短期講座	テレビドラマに学ぶ英語	スティーブ・ハワード	1	4

2月2日	英語サロン	「ダイアナ妃の死—事故か？陰謀か？」	マイケル・クルーズ	1	50
3月4、11日	短期講座	学びの力をはぐくむ・幼児知育教室 体験レッスン	榊原 千香子	2	5
3月29、30日	英語教育セミナー	発音ワークショップ	中郷 慶	1	9



7. 14ピースアクション ↑
↓ 第35回 2. 11集会ちらし
—映画上映と東志津監督トーク—



本年は、<基督教基盤・ミッションを考える会>と<平和問題委員会>が一つになり名称も<ミッション・平和委員会>となった。この一年、中心軸として *peace be* をすえ、平和を聖書に学ぶことから始めた。まず「基督教における平和」として日高牧師に「せめぎあう二つの平和」についてお話しして頂いた。続いて7月には参議院選挙をにらんでの緊急アピールとして、憲法9条を固く守ることを訴えながら、土砂降りのなかピースパレードを行った。他団体の方々、学生、若者たちの協力大であった。この流れの中9月には憲法第九条をまもる為に、全国一斉9・99行動をYの青少年、学生中心で企画し、VOVのゴスペル、ジャズ、パーカッション、いろんなアイデアを持ち寄りビッグスペースと栄広場で集会を持った。11月には世界YM/YWCA合同祈禱週に、YMCAにて合同の礼拝とお話をもった。12月にはクリスマス祝会を会員委員会と合同で行った。2月11日には天皇制問題を考える集会に「花の夢」—ある中国残留婦人の映画と東志津監督トークをおこなう。3月には沖縄のお話とお菓子ちんすこうを作る。(宮治 陽子)

【開催プログラム】

開催日	プログラム名	テーマ	講師名	回数	人数
6/28	キリスト教学習会	“Peace be”を学ぶ	日高伴子	1	13
7/25~8/5 8/27~28	ヒロシマ市民の描く原爆絵画展	名古屋市千種図書館にて 名古屋YWCAにて			
11/16	YWCA・YMCA合同祈禱週集会	何よりも大切な子どもたち 「YMCAの障がい児プログラム」	森宗志保	1	26
2/11	天皇制問題を考える2.11集会	『花の夢』映画上映と監督トーク	東志津	1	
年間	今月の聖句	聖句選定と館内掲示	Pop&Art ぐるーぷ	12	—
11~2月	9条アピールポスター掲示			1	
3/10	ちんすこう講習会		吉沢美智子	1	9

クリスマス祝会

今年度の活動方針：会員委員会とミッション・平和委員会の共同開催とし、両者の意見交換を丁寧に行うため早めに準備の話し合いを始める



今年度はクリスマス祝会を会員委員会と合同で行った。早い時期から話し合いを始め、『Peace be with you』の今年度テーマのもと、ページェント「ベツレヘムの星」、クリスマスメッセージ「赤ん坊の笑顔」、金城学院大学の横手多佳子&アンソナル・フリーデンによる室内楽の演奏と内容の濃いものとなった。会場を飾ったリースやクランツも大変美しく、全体に好評であった。(宮治・蓮尾)

【開催プログラム】

開催日	プログラム名	テーマ	講師名	回数	人数
12/15	クリスマス祝会	Peace be with you あなたがたに平安があるように	島しづ子	1	90

日本語教育セミナー



4月21日開講講演

2007年度は午前には教授法コース(25名)、夜に基礎コース(37名)を開講した。他に速習実践コース1名、同時受講コース4名が在籍している。応募者数は前回の夜コース募集とあまり変わらなかったが転勤などのため前期に退学する人が数名いたため、秋入学者を3名受入れた。来年度の募集が午前コースとなるため、集めやすい夜に人数を確保しておくことを考えた。今後も昼低調・夜好調という状況が続くのではないと思われる。教育訓練給付金制度は、教授法コース、同時受講コースの受講生に適用されており夜間コースの募集に役立っている。就職に関しては好調である。経験者を希望されることが多いものの中部地区の日本語学校の好調に押され求人は多かった。海外へは中国・インド・シンガポール・アメリカ・ベトナムの大学や外国語学校に専任で10名ほど行った。また、プライベートレッスンにも講師を紹介している。

上記の本コース以外に現職者コース3回、教育実習コース3コースを行なった。いずれも徐々に定着しつつあると考える。それ以外にY's serendipityというカフェ・スタイルのプログラムも2回行なった。また、地域のボランティア養成に関しては尾張旭・瀬戸(4コース)・一宮(2コース)などを引き受け、瀬戸においては地域用の日本語テキストも共同で作成し、新聞にも取り上げられた。(磯村 美保子)

【開催プログラム】

開催日	プログラム名		
(1月～3月)	(説明会)	(8)	(57)
4月～通年	基礎コース	76回(計220時間)	37
4月～通年	教授法コース	76回(計219時間)	25
4月～通年	速習実践コース	58回(計146時間)	1
4・21	日本語講演会(開講講座)	1回	68
5月～	現職者	3回(計9時間)	各30～
4月～	教育実習コース(実践)	6回(計17時間)	11
7月～	検定対策講座	8回	16～20
8月	教育実習コース(入門)	5回	7
6月23日	Y's serendipity 第一回	1回	59
2月16日	Y's serendipity 第二回	1回	43
1月～2月	ゆっくり学ぶ日本語ボランティア	5回	10

【外部講師】

開催日	プログラム名	講師名	人数
6月～	尾張旭日本語ボランティア養成(5回)	伏屋・西田	20人
7月・12月	瀬戸日本語ボランティア養成(8回)	伏屋・西田・久田・海老原	各40～50人
4月～通年	金城学院大学 日本語・日本語教育法	磯村	*
1月・3月	一宮日本語ボランティア養成(2回)	伏屋・西田・山田・海老原	各20～30人

【就職紹介(成立したもの)】 求職数46件(2007年4月～2008年3月)

プライベート	学校・研修生	(内海外)
18件	26件	12件(中国・シンガポール・インド・ベトナム・アメリカ)

食 堂 委 員 会

委員在籍数	委員会開催回数	延出席数
8名	11回	92名

今年度の活動方針：Ys カフェの運営。会員、会館利用者の交流の場となるよう、明るい空間の維持発展に努める。



今年度は新たにリゾート、カフェオレ、チャイなどのメニューも増えまた会館入口に置く看板の効果もあって、利用状況は昨年度より好調であった。活動部やグループ、事業部のプログラムなどでもカフェのランチやケーキ、クッキーなどの注文が増え、仕込みやケーキ焼きも忙しさを増した。しかし運営は相変わらず厳しい状況で、その改善とメニューの変化をつけるために委員が交替で月1回季節感を盛り込んだスペシャルメニューを提供した。特別プログラムは、7月に「すてきにティータイム～パリ祭りによせて」と題し、手作りのデザートアラカルトとおいしいお茶を、兼松みどりさんのピアノ&弾き語りで楽しんでもらった。

食堂を改装して「Y's カフェ」の運営を食堂委員会が担当して6年目になった。ぼつぼつ備品の傷み、故障が出てきており、次年度は優先順位をつけて整えていくことになる。(佐藤 鋒子)

4～11月	スペシャルランチ	(7月はアフリカンサマーパーティー)	6	182名
7/14	すてきにティータイム	デザートアラカルトとピアノ&弾き語り	1	68名
7/28	アフリカンサマーパーティー	会員委員会主催：アフリカ料理のスペシャルランチ	1	41名
12/15	クリスマススペシャルメニュー		1	46名

バ ザ ー 委 員 会

委員・職員在籍数	委員会開催回数	延出席数
7名	4回	28名



毎年盛況、小物市の様子です。

10月12日(金)に開催しました。入場者514名、予算200万を上回る収益を得ることができました。年々働き手の確保が難しいため、チラシやHP、ボランティア情報誌などでボランティアを募集したり(17人の登録)、夜にも作業の時間を作り、より多くの働き手の協力を得るなどの工夫をしました。また、3Fまで限なく会場を回ってもらうための工夫として、スタンプラリー開催や(来場者の約半数の人が参加)、体験型の出店という試みもしました。

来年度から組織が変わり、今までのようなバザーの規模や作業量をこなしていくのは難しくなります。バザーの目的(資金作り、会員交流、YWCAの広報)を明確にし、どんな形態でのバザーが今後必要なバザーなのかを会員全員で話し合っていく大事な時期に来ていると思います。(西山 節子)